

2018年ルール変更点（セルフジャッジにおける変更）

1. 各判定とコールをする権利者

- ・「フォールト」「アウト」「グッド」はネットから自分側のプレーヤー・チーム
- ・「ネット」「スルー」「タッチ」「ノットアップ」「ファウルショット」は両プレーヤー・チーム
- ・「フットフォールト」はコート内にいるレフェリー、またはロービングアンパイアのいずれか
- ・「イン」「アウト」のオーバールールは巡回しているレフェリー、ロービングアンパイアのいずれか

2. 妨害によるレットのコール

- ・コート外からの妨害による「レット」のコールは両プレーヤー・チームができる。
- ・対戦相手による無意識の妨害（帽子、ボールなどの落とし物）は、妨害を受けたプレーヤー・チームのみ「レット」をコールできる。2回目以降は故意に妨害したとして失点する。プレーが続きポイントが決まったあとではコールできない。
- ・対戦相手による故意の妨害「ヒンダランス」は、妨害を受けたプレーヤー・チームの申し出によりレフェリー、ロービングアンパイアが判断する。ただし、妨害を認知しながらプレーを続けた場合は妨害と見なされない。

3. 誤ったコールを直ちに訂正した場合

- ・インだったボールを誤って「アウト」とコール（ミスジャッジ）したが直ちに訂正した場合は、1回目は故意ではない妨害としてポイントレットにする。ただし、ミスジャッジする前に打たれたボールが明らかなウイニングショットまたはエースの場合は失点となる。2回目以降は故意に妨害したとして失点する。

以上がセルフジャッジにおいてのルール変更点です。

他に、2018ルールブックを持っている方は、

- ・ P. 60 の4と7) を全文削除、
- ・ p. 33 の1行目から16行目までを削除
- ・ p. 152 の服装と用具のコードの部分に脱落部分があるので2017を参照する。